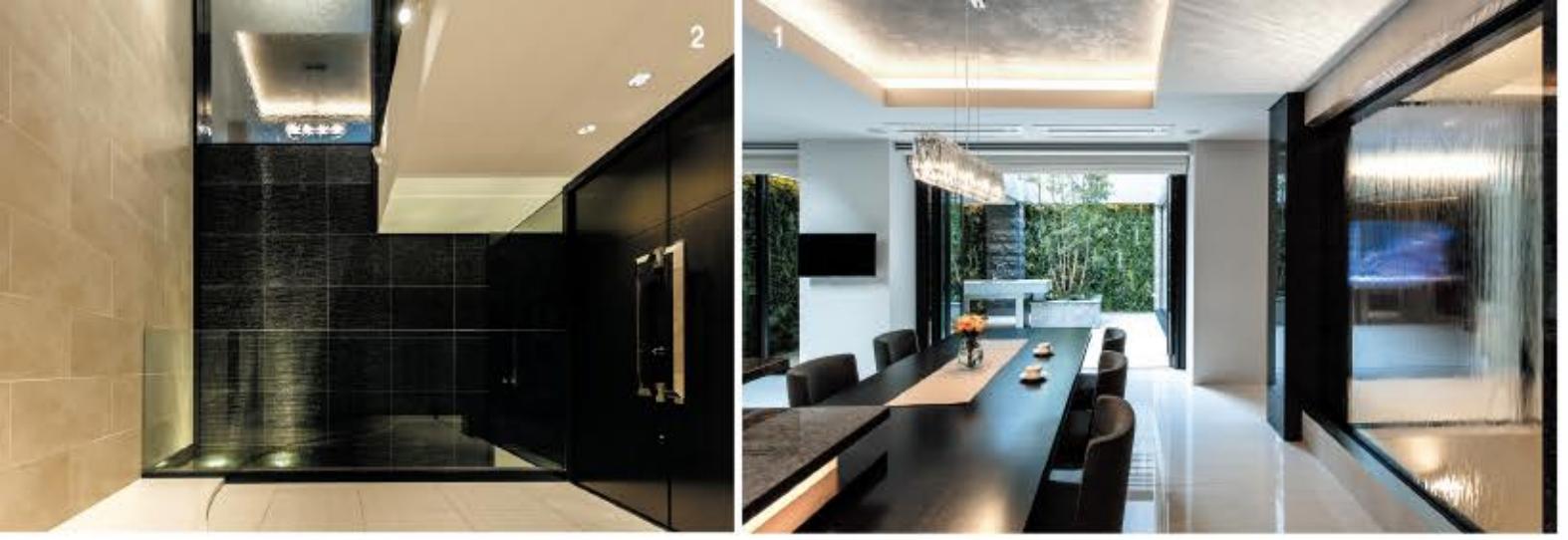


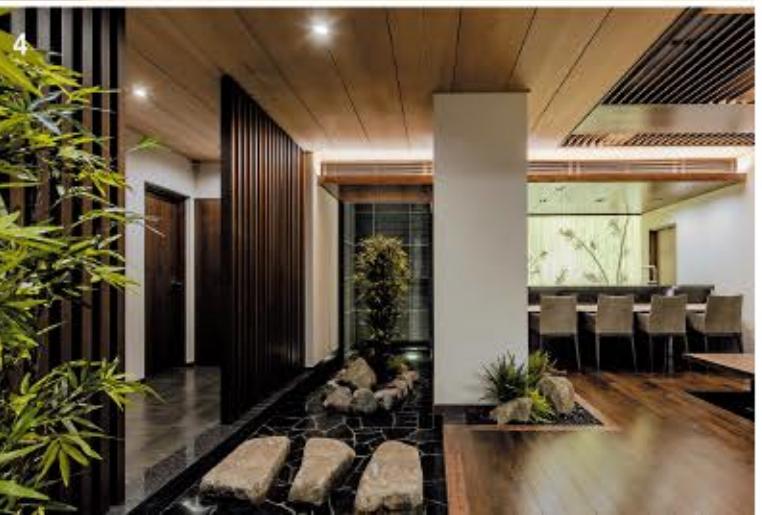
都心に建つ居城

ビルやマンションが立ち並ぶ都心に建つ住まいは、
プライバシーを守り、光や緑、水のせせらぎを感じる、
環境に左右されない牢固たる城。



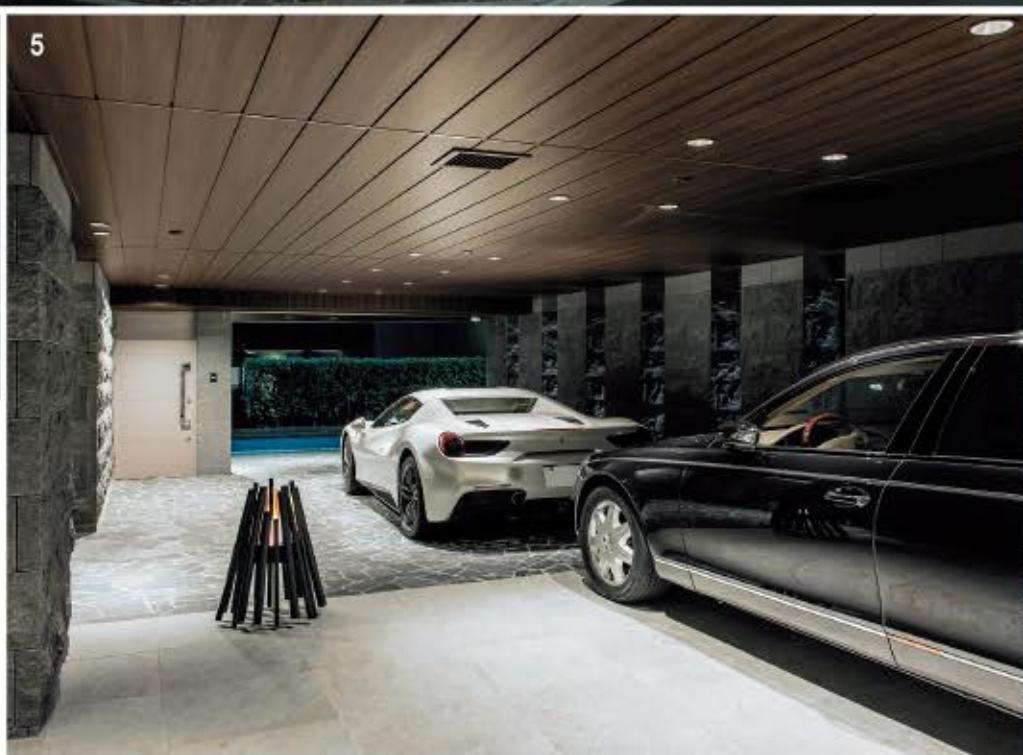


1. ダイニングの壁面をガラスで仕上げ、ウォータースクリーンの水のゆらぎを楽しむ。
2. エントランスはベージュに黒が映えるツートンカラーで合わせた。2層吹き抜けの空間に、2階から地下1階までつづくウォータースクリーンの滝が出迎える。
3. 地下1階は和の空間。奥のカウンターは寿司職人を呼び、ケータリングを行うために設えた寿司専用のカウンター。手前は暖炉裏のある掘りごたつで、鍋料理などを堪能できる。
4. 2階から落ちる水を滝つぼのように水深を深くし、水中照明を設置した水盤。水のゆらぎがライトアップによってはっきりと映し出される。まるで、滝からつづく小川のように水の流れをつくり、飛び石を渡した和の空間は、フロアのテーマを明確にすることで風韻を味わう。



ハイサイドライトが日中は燐々と
日を取り込み、夜は深藍に染まる。
正面は都心では珍しい薪暖炉が。
暖炉の火やアクアリウムを眺め、
リラックスした時を過ごすリビング。

ダイニングキッチンの奥口はフル
オープンにすることで中庭とひと
続きに、アイランド型のキッチン
カウンターにはプロ仕様の鉄板が



1. 最上階にあるスパ。こちらの露天の岩風呂は個人室とは思えない、日本旅館さながらの贅沢さ。
2. 屋外、室内に向かうアプローチはシャワールームを兼ねたつくり。こちらでかけ湯を行ってから入浴できる。
3. 室内風呂は右側の窓をフルオープンすることで、露天風呂のように楽しむこともできる。夜には夜景を臨みながら、ジャグジーバスでゆったりと疲れを癒す。
4. 剥肌仕上げの外壁が城壁を連想させ、堅固な城の様。
5. ガレージは車寄せも含め、最大 5 台の車を駐車できる。
6. 5 階のホームジム。この階には岩盤浴のスペースも。

Earnest Group Earnest architects

建築設計事務所：アーネストアーキテクツ株式会社
〒108-0014 東京都港区芝5-5-1 お問合せ先：03-3769-3333
HP <http://earnest-arch.jp>

こちらの作品は、ホームページでご紹介しています。

詳しくご覧になりたい方は、都心に建つ図解で検索！

アーネストグループのWEBサイトでは様々な作品事例をご覧頂けます。

アーネストアーキテクツで検索！アクセスをお待ちしております。

■DATA

敷地面積 /	231.42m ²
延床面積 /	682.05m ²
B 1 /	111.87m ²
1 F /	171.50m ²
2 F /	148.74m ²
3 F /	89.02m ²
4 F /	81.23m ²
5 F /	54.28m ²
6 F /	25.41m ²

■STAFF

企画室室長	: 和田直哉
設計	: 板橋友也
コーディネーター	: 竹内香奈子
撮影	: 熊谷忠宏

高級住宅の本質を体験する
「こだわりを極める住まい展」開催
presented by Earnest architects

Plan for Abundant Living

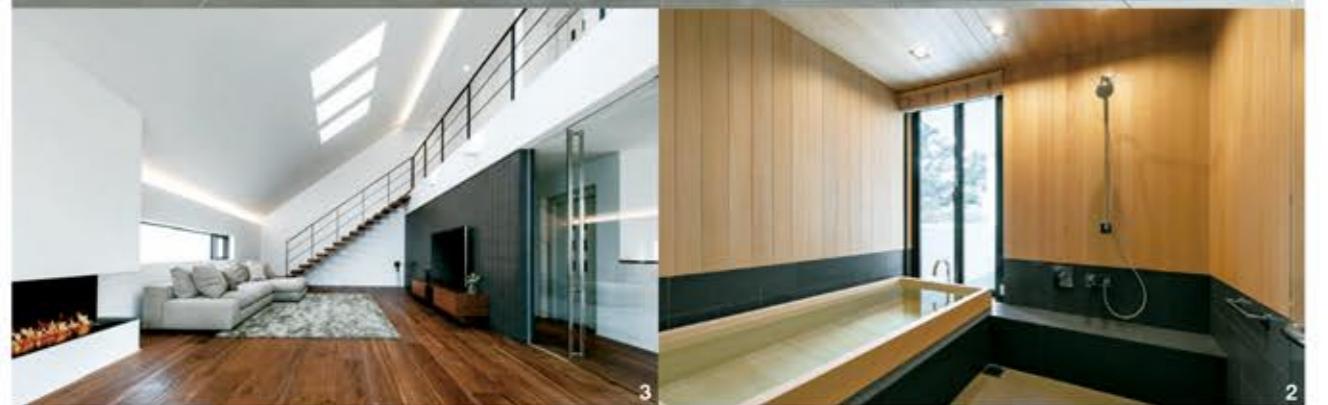
会期: 2018年 3月 3日 (土) ~ 5日 (月)

11:00 ~ 18:00 (最終日 5 日は 17 時まで)

会場: 鶴臺ギャラリー 南青山中京区御池通東洞院町地下鉄烏丸御池駅1番出口徒歩1分

お問合せ: 0120-332-363

入場無料



奥に配されたリビングが落ち着ける憩いの場

数年来、都心の集合住宅で奥さまと子供の3人で暮らしていたKさん。建て替えが1年半後に迫り、仮住まいも検討する中、折よく公園前の土地に出会い家づくりを始めました。「大きな窓などどこかに吹き抜けが欲しい」とお伝えし、設計コンペを行ったんです。他の2社は道路寄りが吹き抜けでしたが、アーネストアーキテクツの建築家・廣田靖さんは、奥さんが吹き抜けのプランを提案されました。外から見えず開放的というバランスが絶妙で、おかげでリビングでは、「とてもくつろげます」。

公園に面した西側以外は、隣家が迫る立地。地盤改良や工期の面から木造枠組壁工法を採用し、3階建てにしてルーフバルコニー付きと、最大限のボリュームを確保しています。1階はシアタールームと書斎で、2階のリビングが生活の中心。吹き抜け越しに、寝室が並ぶ3階と一緒にの大空間で、トップライトやスリットから差す光に包まれます。公園側に天井低めのダイニング、逆側には3階につながる階段。南側には水まわりが配され、家族はほとんどの時間をこのリビングで過ごすそです。内装は風合いのよいチーク材フローリングがベース。木の質感にモートーンのアイテムを加え、落ち着きのあるモダンテイストに仕上げました。色味を抑えた室内からは、公園の風景がよりクリアに映ります。「春は一面桜色に染まつて圧巻です。夏も緑が鮮やかできれいで、Kさん。四季の移ろいを感じられます。」

DATA	
K邸	
□敷地面積／231.76m ²	□延床面積／306.38m ²
□家族構成／夫婦+子供1人	□所在地／東京都
□構造／木造枠組壁工法	
□設計／アーネストアーキテクツ	



1 ダイニングの大窓が、春の風景を如線のように切り取る。2面に開きつつバルコニーを低い外壁で囲い、視線をカット。床は奥さまの要望で滑りしやすい大判タイルに。2 バスタブから腰上の壁や天井まで青森ヒバを用い、和風情緒漂うバスルーム。視線が重ならない場所にバスポートを設け、隣家の縁も借景に取り込んだ。3 勾配天井の角度は階段の傾斜に合わせた。チーク材フローリングは「望造」。4 左官材やレッドシダーと異素材が違う外観。凹凸のあるプロポーションと窓の配置から緻密なプランがうかがえる。



Earnest architects

四季で移ろう桜が借景になる 勾配天井の大空間に優しい光が満ちる家

都市の住宅地に家を建てる際、「プライバシーを確保しながら、どのように光と緑を取り入れるか」は、最大の課題。

K邸は、公園に向かって大胆に開きながら低い外壁で視線をカット。四季折々の風景を楽しむ開放的な住まいを実現しました。

設計／アーネストアーキテクツ 廣田 靖 インテリアコーディネイト／竹内香奈子
撮影／熊谷忠宏 取材・文／宮崎博子